

(様式1)

県立高校指定校事業（令和4年度指定） 3年間計画書

|                        |   |       |        |
|------------------------|---|-------|--------|
| 学 校 名                  | 横浜氷取沢高等学校 (全・定・通)   | 校 長 名 | 小河 多香路 |
| 指定名                    | グローバル教育研究推進校  |       |        |
| 研究主題                   | 本校のグラデュエーション・ポリシーである「グローバル人材に求められる資質・能力の育成」に向けて、英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育を推進するとともに、すべての教科において、それぞれの教科特性を踏まえ、教科横断的に取り組む指導と評価の研究   |       |        |
| 3年間の目標<br>(3年後のめざすべき姿) | 本校のグラデュエーション・ポリシーを踏まえ、次のような「グローバル人材に求められる資質・能力」を育成する。<br>○国際的な視野を持ち、主体的に考え、探究することができる力<br>○自らの課題に挑戦し、自己を伸ばし続ける姿勢をもつ力<br>○多様な価値観を尊重し、他者と協働して問題解決できる力   |       |        |
| 3年間の<br>研究内容           | <p><b>(1) 研究主題の設定理由とこれまでの本校における取組</b></p> <p>本校は、令和2年4月、県立高校改革実施計画（I期）に基づき、氷取沢高校と磯子高校が取り組んできた成果を踏まえ、「英語によるコミュニケーション能力の向上と姉妹校交流を通じた国際教育の推進」、「地域との協働・連携を重視した教育活動を推進し、地域に根ざしつつ国際性豊かな人材の育成」を設置目的として開校した。</p> <p>開校以来、「グローバル社会の中で主体的に考え、協働する中で、挑戦し続ける生徒」をめざす生徒像とし、学校設定科目「コミュニケーションスキルズ」をはじめとした英語教育の充実、全ホームルーム教室に設置した電子黒板と一人一台のタブレット端末を活用した主体的で協働的な学び、国際理解・SDGsをテーマとした「総合的な探究の時間」における系統的な学びと姉妹校交流の推進等に取り組んできた。</p> <p>今回、グローバル教育研究推進校の指定を踏まえ、本校のグラデュエーション・ポリシーに基づく研究主題を設定した。具体的には、英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育をより一層推進するとともに、「総合的な探究の時間」を含むすべての教科において、それぞれの教科特性を踏まえ、教科横断的に「グローバル人材に求められる資質・能力の育成」に取り組む指導と評価の研究を行う。</p> <p><b>(2) 研究の内容</b></p> <p>① 全教科における教科横断的な取組</p> <p>指定3年間の各年度において、「グローバル人材に求められる資質・能力」の育成に向けた「校内授業研究テーマ」を設定し、それぞれの教科特性を踏まえた指導と評価の研究を行う。</p> <p>② 英語教育における取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>英語の学校設定科目「コミュニケーションスキルズ」を効果的に活用し、学習指導要領上の科目と併せ、英語の4技能5領域をバランスよく向上させる指導と評価の研究を行う。</li><li>校内において、スピーチコンテスト、プレゼンテーションコンテストを開催し、英語で表現する力を育成する。</li><li>オンライン英会話や英語外部試験の校内実施（GTEC・実用英語技能検定）等の活用をとおして、英語能力を高め、自らの課題に挑戦する姿勢を育成する。</li></ul> <p>③ 国際理解教育の多角的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「総合的な探究の時間」において、全学年で国際理解研究をテーマとし、3年間の系統的な学びにより、様々な国・地域の文化や考え方の多様性を理解し、多様な人と協働し、みずから問いを立てて解決する探究力を育成する。</li><li>姉妹校交流（韓国、オーストラリア等）や海外修学旅行等を実施することにより、異文化の多様性や地球規模の諸課題について、体験的に理解する機会を提供する。</li></ul> <p>④ 外部教育機関との連携等による教育機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"><li>高大連携等を活用し、外部人材による講演会等の実施をとおして、多様な考え方を学ぶ機会を提供する。</li></ul> |       |        |

|                       |   |
|-----------------------|---|
|                       | <p><b>(3) 成果の検証方法及び成果指標</b></p> <p>①年度ごとに設定する「グローバル人材に求められる資質・能力」の育成に向けた「校内授業研究テーマ」に基づき、全教科でそれぞれの教科特性を踏まえた指導と評価の研究を行うことができたか。</p> <p>②「魅力と特色づくりアンケート」のうち、「主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力等を高めることができたと思う高校生の割合」の向上（目標値は単年度計画書で設定）。</p> <p>③「生徒による授業評価」のうち、次の質問項目において、肯定的な回答の割合が3年間の指定期間で向上し続けること。</p> <p>(1) 授業の在り方について「単元（内容のまとまり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。」の質問項目</p> <p>(2) 学習の状況について「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。」の質問項目</p> <p>④ (1) CEFR の A 2 レベル以上相当を達成する生徒の割合が指定期間において向上し続けることができたか。（GTEC 結果の経年変化の分析）</p> <p>(2) 実用英語技能検定の受検者数や合格者数が向上したか。</p>   |
| <p><b>研究計画の概要</b></p> | <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての教科に共通する校内授業研究テーマを「他者の考えを知ること、自分の考えを広げる指導と評価の研究」（仮）とし、校内授業研究テーマを踏まえた授業改善を行う。</li> <li>○英語教育については、4技能5領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り・発表）」、「書くこと」）における各領域別の効果的な言語活動を研究し授業改善を行う。</li> <li>○国際理解教育については、これまでの「総合的な探究の時間」における系統的な指導計画について課題の整理を行う。姉妹校交流については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、直接交流とオンライン等を交えた新たな交流の在り方を追求する。</li> <li>○外部教育機関との連携については、グローバル教育に係る講演会の実施に向け、外部人材の活用を計画する。</li> </ul> <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内授業研究テーマについては、令和4年度の成果と課題を踏まえて年度当初に策定し、校内授業研究テーマを踏まえた指導と評価の研究を行う。</li> <li>○英語教育については、4技能5領域における各領域別の言語活動について、適切な指導と評価の研究を行う。</li> <li>○国際理解教育については、「総合的な探究の時間」において、より一層、課題を自ら発見し、課題解決のための仮説を立て、検証する探究的な学習プログラムの充実を図る。姉妹校交流については、訪問や受入の再開に向け、効果的な体験プログラムを計画する。</li> <li>○外部教育機関との連携については、具体的な高大連携を視野に入れた教育事業を計画する。</li> </ul> <p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内授業研究テーマについては、令和5年度の成果と課題を踏まえて年度当初に策定し、校内授業研究テーマを踏まえ、教科横断的な指導と評価の研究を行う。</li> <li>○英語教育については、4技能5領域における各領域の言語活動について、複数を結び付けた統合的な指導と評価の研究を行う。</li> <li>○国際理解教育については、「総合的な探究の時間」における質的充実を図るとともに、自ら問いを発見し解決していくプロセスを効果的に表現する指導を研究する。姉妹校交流については、日常の教科科目の学習と訪問や受入という体験を関連付ける指導計画を研究する。</li> <li>○外部教育機関との連携については、外部人材の教育力を日常の教科科目の学習に生かす取組を研究する。</li> <li>○3年間の研究成果をまとめる（取組の概要及び成果と課題をまとめて、発信する）。</li> </ul> |
| <p><b>研究体制</b></p>    | <p>グローバル教育研究推進チーム※を中心とした全職員による組織的な取組とする。</p> <p>※国際連携2名、学事教務2名、総合的な探究の時間担当（進路担当）3名、英語科2名、管理職3名、有志グローバル教育研究推進チームの業務</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) グローバル教育研究推進校の取組（実施要項の「4 研究内容」に係ること）</li> <li>(2) ICTの利活用を含めた授業改善の取組（各教科、総合的な探究の時間）</li> <li>(3) ルーブリック評価の研究、推進</li> <li>(4) 教科横断的な国際理解教育の推進（姉妹校交流、スピコン等）</li> </ol>   |
| <p><b>その他特記事項</b></p> |   |